



—東地中海地域ニュース—

イスラエル：ネタニヤフ首相とオバマ米大統領との会談

(3月24日付現地各紙)

訪米中のネタニヤフ首相とオバマ米大統領の会談についての報道（概要）。

1. 3月23日深夜、ネタニヤフ首相は、オバマ米大統領との会談に臨んだ。会談のほとんどは、二人のみで冒頭カメラ撮りも行われなかった状態で約90分間行われた。

ネタニヤフ首相は、両国間関係の危機を終了させ、米国現政権との協力関係をさらに進展させたいと述べると共に、新規の建設計画毎に危機を醸成するのではなく、東エルサレムにおける建設問題について「同意しないことに同意する」という過去のイスラエル・米国関係に回帰することを求めた。また、同首相は、オバマ大統領に対して、「パレスチナ側がエルサレムにおける建設を凍結するべしとの不可能な要請を持ち出す度に、我々は米国との関係を抵当に入れている」と述べた。

ホワイトハウスからは両首脳協議内容に関して、今のところ何のコメントも出されていない。

2. 会談終了後、オバマ大統領は、ホワイトハウス内の居住区域に移動したが、ネタニヤフ首相は1時間以上にわたり同首相の補佐官と協議を行った。その後、ネタニヤフ首相は、再度オバマ大統領と二人で30分間会談を行った。
3. 会談終了後、ネタニヤフ首相の報道官は、「両首脳の会談は非公開で1時間半行われ、会談の雰囲気も良好であった」と述べ、両首脳の補佐官が首脳会談で取り上げられた考えについて継続協議をしていくこととなり、24日にも協議をすると語った。